

学校案内

兵庫県立芦屋国際中等教育学校



HYOGO PREFECTURAL

***ASHIYA
INTERNATIONAL
SECONDARY SCHOOL***



教育目標

- 1 言語環境や文化的背景の異なる子どもたちの相互啓発により、共に生きる心をはぐくみ、多文化社会に生きるにふさわしい人間形成を図る。
- 2 個に応じた指導の充実により、基礎・基本を確実に身につけ、それを基に自ら学び、考え、判断し、行動する力を培う。
- 3 コミュニケーション能力や異なる文化を理解・尊重する態度など豊かな国際感覚を備え、国際社会に貢献できる力を育てる。



校訓

RESPECT (尊敬)
INTEGRATION (融和)
CONTRIBUTION (貢献)



教育の特長

一般の中学校・高等学校にあたる前期課程・後期課程の6年間を通じて、異なる言語環境や文化的背景のもとに育った生徒が、能力や適性に応じて弾力的に学ぶ中高一貫校として、教育活動を展開します。



特色ある教育内容

～ 個に応じたきめ細かな支援 と 豊かな共生の心を培う教育の推進～

1 自己実現への支援

生徒の滞在国や出身国等の言語や文化の学習機会を提供するなど、自尊感情や自己肯定感をはぐくむとともに、自己実現を図るための支援を行います。



2 弾力的な学習支援

6年間を通じた弾力的なカリキュラム編成を行い、少人数指導や個別指導など、日本語や日本文化の理解の程度、海外での生活で身につけた語学力や教科内容の理解等に応じた学習支援を行います。



3 主体的な進路形成の支援

自主体験活動の充実を図るとともに、語学に関する資格試験に対応する学習指導を含め、生徒の個性を生かした資格取得を支援し、後期課程においては取得した資格を単位として認定するなど、生徒の達成感や充実感を引き出す取組を通して主体的な進路形成を支援します。



4 心の教育の推進

道徳教育、人権教育、特別支援教育を推進する委員会を定期的に開催するとともに、教育相談・カウンセリングの充実を図りながら、生徒や保護者の悩みを受け止め、学校と保護者が連携して、命を大切にしたい心の教育を推進します。



5 交流活動の推進

地域の学校や国際交流協会、国際協力機構（JICA）などの関係機関等との連携・交流を図り、多様な学習環境を創造します。



在校生の声

芦屋国際中等教育学校は、「多文化共生」という言葉がいちばん似合う学校ではないかと思います。いろいろな国の人がいるだけでなく、互いを認め合い、日々の学校生活を楽しんでいます。また、外国人が当たり前のようにいる学校です。その「当たり前」が私たち生徒に、かけがえのない宝物を与えてくれています。

芦屋国際中等教育学校に入学して、それまで当たり前だったことが当たり前でなくなり、それまで想像もなかった世界が当たり前になりました。この学校で育んだ世界観や、6年間を通して学んだ、仲間を大切にすることで得られる温かさが、卒業してからも世界で活躍できることを約束してくれているのだと思います。

制服

【男子】ブレザー・パンツ・長袖シャツ・半袖シャツ・ネクタイ・ベスト・セーター

【女子】ブレザー・スカート・パンツ・長袖ブラウス・半袖ブラウス・リボン・ベスト・セーター

気候に合った服装を選んで登校します。



学習活動

1 6年間を通した「生きる力」の育成

6年間の一貫したゆとりある学校生活の中で、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」などの「生きる力」の育成を図ります。



2 多様な学習システムの導入

- (1) 多様な少人数授業の推進
- (2) 外国語講師等を活用した様々なチームティーチングの推進
- (3) 個に応じた「グループ別英語学習」「日本語教室」の展開



学校行事

- 4月 入学式
授業参観
- 5月 前期課程修学旅行（沖縄）
校外学習
- 6月 文化祭
- 7月 芸術鑑賞会
三者懇談会
夏期補習
- 8月 夏期補習
- 9月 体育大会
- 10月 後期課程研修旅行（ニュージーランド）
ふるさと貢献事業（ふれあいコンサート）
- 11月 創立記念日
トライやる・ウィーク
- 12月 ふるさと貢献事業（清掃）
三者懇談会
冬期補習
- 1月 冬期補習
- 2月 AI 発表会
卒業式
- 3月 合唱コンクール（前期課程）
ふるさと貢献事業（清掃）
前期課程修了式（3年）

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、
現在、一部行事は変更しています。



部活動

文化部

E S S
コーラス
情報文学
吹奏楽
美術
邦楽科
科学

運動部

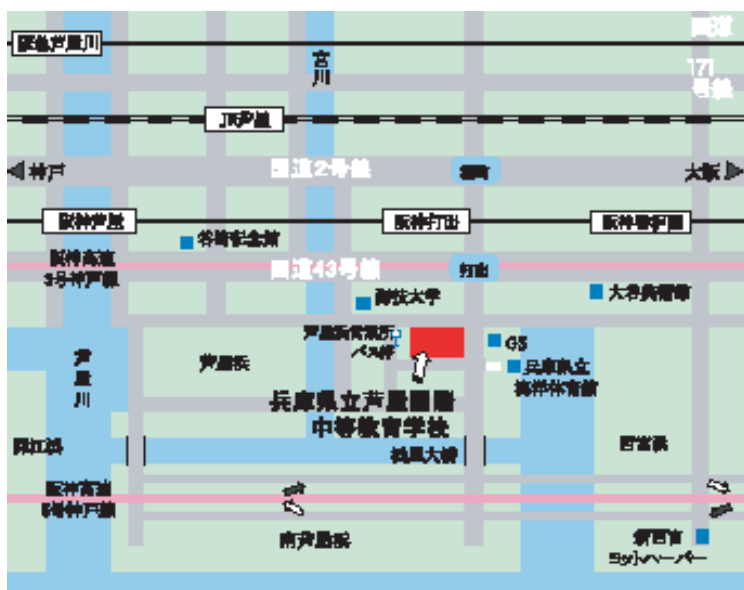
カヌー
剣道
硬式テニス
サッカー
ソフトボール（女子のみ）
バスケットボール
バドミントン（女子のみ）
陸上競技



アクセス

◇阪神打出駅から南へ 900m

◇阪神芦屋駅・JR芦屋駅・阪急芦屋川駅から阪急バスで「芦屋浜営業所前」下車すぐ



<入学等に関する問い合わせ先>

兵庫県立芦屋国際中等教育学校
〒659-0031

兵庫県芦屋市新浜町 1-2

Phone 0797-38-2293

Fax 0797-38-2295

Website 「芦屋国際中等教育」
で検索してください。

在籍状況 (2022年9月30日現在)

1 生徒数

	男	女	計
1年	24	55	79
2年	27	53	80
3年	29	50	79
4年	25	52	77
5年	28	47	75
6年	22	53	75
計	155	310	465

生徒の国籍 (出身地)

ニュージーランド、ケニア、バングラデシュ、ブラジル、カナダ、中国（台湾を含む）、フランス、インドネシア、イスラエル、イタリア、日本、ラトビア、マレーシア、ネパール、パキスタン、ペルー、フィリピン、韓国、ロシア、タイ、ドミニカ国、ドミニカ共和国、イギリス、アメリカ、オーストラリア、ベトナム、カンボジア、オランダ、キルギス共和国、イラン

2 市町別生徒数

神戸	阪神南			阪神北					東播磨			西播磨	計
	尼崎	西宮	芦屋	伊丹	宝塚	川西	三田	川辺郡	明石	高砂	加古川	姫路	
184	27	119	74	12	30	3	3	1	6	2	1	3	465

卒業生の進路結果

※過去3年間（令和2年3月卒業～令和4年3月卒業）の大学等の主な進学実績です。

卒業生の進路状況についての詳細は本校ウェブサイトに掲載しています。

【国立大学】	【私立大学】	【海外の大学】
北海道 東北 山形 筑波 埼玉 一橋 信州 金沢 横浜国立 京都 京都工芸繊維 京都教育 大阪 神戸 兵庫教育 奈良教育 広島 鳥取 島根 香川 高知 長崎 琉球 神戸(医)	早稲田 慶応義塾 上智 立教 明治 青山学院 国際基督教 昭和女子 東京農工学院 武蔵 金沢工業 同志社 立命館 同志社女 子 京都造形芸術 京都外国語 京都産業 成安造形	Dela Salle-College of Saint Benilde フィリピン PATTS College of Aeronautics フィリピン Arts University Bournemouth 英 Willamette University 米 淡江大学 台湾 など
【公立大学】	【短大】	【短大】
滋賀県立 京都市立芸術 大阪公立（市大・府大含む） 兵庫県立 神戸市外国語 新見公立	関西 近畿 関西外国語 大阪歯科 大阪工業 大阪商業 大阪学院 関西学院 甲南 甲南女子 神戸女学院 神戸学院 武庫川女子 園田学園女子 神戸松蔭女子	京都外語短大 関西外大短期 武庫 川女子短期 大阪芸術大短期 神戸 女子短大 神戸常盤大短大 産業技 術短大
【大学校・就職】	【大学校・就職】	【専門学校】
なし	神戸女子 神戸海星女子 神戸芸工 兵庫医療 流通科学 立命館アジア太平洋 など	尼崎医療財団看護 宝塚市立看護 横浜労災看護 大阪キャリア製菓 ECC アーティスト美容など

3 教育課程

前期課程 ※数字は授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技術・家庭	英語	道徳	特別活動	総合的な学習の時間		合計
												A I	探究	
1学年	140	105	140	105	45	45	105	70	175	35	35	35	15	1050
2学年	140	105	105	140	35	35	105	70	175	35	35	35	35	1050
3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	175	35	35	35	35	1050

* AI「芦屋インターナショナルタイム」

後期課程 ※現在、教育課程の入れ替え中のため、4・5年次は17期生、6年次は16期生(令和4年度以降実施および予定)のものを表示

4年次(17期生)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
現代の国語	言語文化	歴史総合	地理総合	数学 I	数学 A	生物基礎	物理基礎	体育	保健	音楽 I	美術 I	書道 I	英語 コミュニケーション I	論理・表現 I	家庭基礎	総合的な学習の時間	L	H	R													
					○応用日本語																											

5年次(17期生)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
論理国語	古典探究	公共	体育	保健	情報	英語 コミュニケーション II	論理・表現 II	物理生物	地理探究	化学基礎/化学	数学 II	数学 B	総合的な学習の時間	L	H	R																
								日本史探究	世界史探究	化学基礎	文学国語	音楽 II (2)	美術 II (2)	書道 II (2)	数学基礎研究(2)	フラクテイルスポーツ(2)	音楽 II (2)	美術 II (2)	書道 II (2)	数学基礎研究(2)	フラクテイルスポーツ(2)	音楽 II (2)	美術 II (2)	書道 II (2)	音楽 II (2)	美術 II (2)	書道 II (2)	数学基礎研究(2)	フラクテイルスポーツ(2)	音楽 II (2)	美術 II (2)	書道 II (2)

6年次(16期生)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32															
現代文 B	コミュニケーション英語 III	英語表現 II	体育	国語表現(2)	古典 B(2,3)	○文学探究(2)	○現代文研究(2)	○漢字研究(2)	世界史 A(2)	地理 A(2)	世界史 B(4)	日本語 B(4)	地理 B(2)	○日本史研究(2)	○世界史研究(2)	倫理(2)	数学 III(6)	○数学 I A 研究(2)	○数学 II B 研究(2)	○数学総合研究(2)	地学基礎(2)	物理(3)	化学(4)	生物(3)	○化学基礎研究(2)	○生物基礎研究(2)	○英語総合研究(2)	○Practical English II (2)	○総合音楽演習(2)	○総合美術演習(2)	○乳幼児の生活(2)	○福祉の基礎(2)	情報の科学(2)	情報社会の	データベース(2)	○中国語(OC)(2)	※第2外国語は5,6年次必修科目	○スペイン語【OC】(2)	○韓国・朝鮮語【OC】(2)	○フランス語【OC】(2)	○ドイツ語【OC】(2)	○韓国語【OC】(2)	○中国語【OC】(2)	L	H	R

○印は学校設定科目 (2)(3)(4)は単位数

<5年次・6年次の選択例>

1 語学を中心に学びたい

5年次	論理国語	古典探究	公共	体育	保健	情報	英語 コミュニケーション II	論理・表現 II	日本史探究 もしくは 世界史探究	化学基礎	文学国語	語学、芸術などを中心に選択	学習の時間	L	H	R
6年次	現代文 B	古典 B	コミュニケーション英語 III	英語表現 II	体育	地理 A または 世界史 A	世界史 B または 日本史 B	語学、芸術などを中心に選択						L	H	R

2 文系でも数理に重点をおき、国公立大学や経済系を目指したい

5年次	論理国語	古典探究	公共	体育	保健	情報	英語 コミュニケーション II	論理・表現 II	日本史探究 もしくは 世界史探究	化学基礎	文学国語	数学 II	数学 B	学習の時間	L	H	R
6年次	現代文 B	古典 B	コミュニケーション英語 III	英語表現 II	体育	地理 A または 世界史 A	世界史 B または 日本史 B	数学・理科などの演習科目を中心に選択						L	H	R	

3 理系へ進み、科学者や技術者になりたい

5年次	論理国語	古典探究	公共	体育	保健	情報	英語 コミュニケーション II	論理・表現 II	化学基礎/化学	地理探究	物理 もしくは 生物	数学 II	数学 B	学習の時間	L	H	R
6年次	現代文 B	古典 B	コミュニケーション英語 III	英語表現 II	体育	世界史 A	地理 B	数学 III	物理 または 生物	化学	理科や数学を選択			L	H	R	

令和5年度 入学者募集要項

兵庫県立芦屋国際中等教育学校

I 出願資格

次の(1)～(3)の要件をすべて満たす児童とします。

(1) 次の①、②のいずれかに該当する児童

① 令和5（2023）年3月に小学校又はこれに準ずる学校（以下、「小学校」という。）を卒業見込みの児童

② 小学校に在籍していない児童で、平成22（2010）年4月2日から平成23（2011）年4月1日までに生まれた児童

(2) 6年間を継続して本校で学ぶ意欲があり、かつ、次の①～③のいずれかに該当する児童

① 日本語や日本文化への理解が不十分な外国人児童で、平成29（2017）年4月1日以降に来日し、かつ、日本国籍を有しない児童（以下、「対象者①」という。）

② 保護者等とともに継続して1年以上海外に居住した児童で、平成29年（2017年）4月1日以降に海外から帰国した児童（以下、「対象者②」という。）

③ 本校の教育目標を理解し、留学や海外での生活等を目指して特に入学を希望する児童（以下、「対象者③」という。）

(3) 通学区域内に保護者とともに居住している児童（「保護者」とは当該児童に対して親権を行う者をいい、親権を行う者がいないときは、当該児童の後見人をいう。以下、同じ。）

2 募集人数

80人

募集人数の内訳は、対象者①30人、対象者②30人、対象者③20人とします。

なお、対象者①～③の合格者がそれぞれの募集人数の内訳に満たない場合は、他の対象者から満たすものとします。

3 通学区域

県下全域

4 出願前の準備

(1) 入学願書の請求

① 請求期間

令和4（2022）年11月22日（火）～12月16日（金）を原則とする。

② 請求方法

ア 保護者が兵庫県立芦屋国際中等教育学校（以下、「本校」という。）あて、封筒の表面に「入学願書請求」と朱書きをし、必ず返信用封筒〔角2号（A4版の大きさ）・140円切手貼付・宛先名明記〕を同封の上、郵送にて請求してください。

イ 対象者②は、返信用封筒の表面に「帰国」と朱書きしてください。返信時に「海外在留証明書」の様式を同封します（5(2)⑦参照。）。

ウ 県外居住児童（「県外」は海外を含む。以下、同じ。）並びに県内居住で県外の小学校在籍児童は、返信用封筒の表面に「県外」、「海外（現地校）」、「海外（日本人学校）」のいずれかを朱書きしてください。返信時に「入学志願承認申請書」の様式を同封します（下の(3)参照。）。

エ 入学願書等、返信する書類について翻訳版が必要な方は、返信用封筒の表面に「言語名」を鉛筆書きしてください。

(2) 保護者から小学校長への依頼

出願期間・時間（5(1)参照。）に本校校長へ出願できるように、保護者が小学校長へ次の①、②の書類作成を依頼し、受け取ってください。

① 入学願書・受験票（5(2)①参照。）

必要事項を記載し、受験票に写真を貼付した上、小学校長へ作成を依頼し、小学校長が必要事項を記載したものを受け取ってください。

② 推薦書（5(2)③参照。）

保護者が小学校長へ作成を依頼し、小学校長が作成の上、厳封したものを受け取ってください。

(3) 県外から志願する場合に必要な入学志願承認申請

① 対象児童

令和5（2023）年4月7日（金）までに兵庫県内に転居する児童で県外から志願する児童、又は県内に在住し県外の小学校から志願する児童

② 申請期間・時間

令和5（2023）年1月4日（水）～1月11日（水）9:00～16:30

（土曜、日曜、祝日を除く。）

③ 申請方法・書類

保護者が申請書類を本校に提出し、本校校長の入学志願承認を得てください。申請書類は、本校から指示を受けてください（上の(1)②ウ参照。）。

なお、申請書類の郵送は認めません。

また、保護者以外の方が申請する場合には、必ず委任状が必要となります。委任状の様式は本校ホームページからダウンロードできます。

この申請により交付された「入学志願承認書」を入学願書に添えて提出してください（5(2)⑧参照。）。

5 出願方法

(1) 出願期間・時間

令和5（2023）年1月12日（木）～1月17日（火）9:00～16:30
（土曜、日曜を除く。1月17日（火）は9:00～12:00。）

(2) 出願方法・書類

保護者が次の①～⑨の出願書類を本校校長に提出してください。

なお、出願書類の郵送は認めません。

また、保護者以外の方が出願する場合には、必ず委任状が必要となります。

委任状の様式は本校ホームページからダウンロードできます。

- ① 入学願書・受験票（4(2)①参照。）
- ② 志願理由書（志願者本人が記載してください。）
- ③ 推薦書（4(2)②参照。）
- ④ 入学考査料 2,200円
- ⑤ 住民基本台帳（住民票）の写し（対象者①に限り必要。）
※ 海外在住等の場合は、外国籍を証明する書類（パスポートの写し等。）
- ⑥ 海外在留期間が分かる書類（対象者①に限り必要。パスポートの写し等。）
- ⑦ 海外在留証明書（対象者②に限り必要。4(1)②イ参照。）
- ⑧ 入学志願承認書（県外から志願する場合等に必要。4(3)③参照。）
- ⑨ その他、本校校長が必要とする書類

(3) 受験票の交付

受付後、受験票を交付します。

6 入学者選考

(1) 会 場

本校（芦屋市新浜町1-2：阪神電車「打出駅」から南へ900m）

(2) 期 日

令和5（2023）年2月4日（土）

(3) 内 容

作文及び個人面接

(4) 当日の日程

受 付	9:40～10:10
説 明	10:20～10:50
作 文	11:00～12:00
昼 食	
面 接	13:00～

(5) 当日持参するもの

受験票、鉛筆、消しゴム、昼食

7 合格者の発表

(1) 発表日時・場所

令和5（2023）年2月9日（木）12:00～ 本校

(2) 入学者説明会

合格者の発表後、入学者説明会を実施します。合格者の保護者は必ず出席してください。

(3) 結果の通知

令和5（2023）年2月10日（金）以降に小学校長あてに通知します。

8 合格者の諸手続

(1) 「入学意志確認書」の提出

① 提出期間・時間

令和5（2023）年2月18日（土）～2月24日（金）9:00～16:30

（日曜、祝日を除く。）

② 提出方法

保護者が「入学意志確認書」を本校校長に提出してください。その際、本校から「入学予定者証明書」を交付します。

(2) 市町組合教育委員会への届出

保護者が「入学予定者証明書」の交付を受けた後、市町組合立中学校に入学しない旨を速やかに当該教育委員会に届け出てください。

(3) 入学の辞退

保護者の転勤等のやむを得ない事情により、入学予定者が入学を辞退しようとする場合、保護者が速やかに「入学辞退届」（様式自由）を本校校長に提出してください。

9 問い合わせ先

本校事務室 TEL 0797-38-2293

(様式1)

※

入学願書

年 月 日

兵庫県立芦屋国際中等教育学校長 様

(フリガナ)

志願者名

(フリガナ)

保護者名

私は、貴校第1学年に入学したいので、保護者と連署し、入学査料を添えて志願します。

受験番号 ※

志願者	現住所	〒		
	生 年 月 日	年	月	日 生
	出 身 小学校	立	小学校	(年 月 卒業見込み)
保護者	現住所	〒		
面接・作文での 使用希望言語		面 接	作 文	電 話 番 号 () -

上記の入学願書は、令和5年度(2023年度)兵庫県立中等教育学校入学者選考要綱の趣旨に照らし、適当であると認めます。

令和 年 月 日

立

小学校長

校長名

印

受付 月 日	受験 番号	フリガナ	出身小学校	志願者 現住所	入学査料(2,200円) 領収日付印		合否
		志願者名		保護者名	出納員 領収印	取扱者 印	受験票と の割り印
※	※	生 年 月 日	小学校		※	※	

- ・ ※印欄は記入しないでください。
- ・ 志願者と保護者の住所が同じ場合、保護者住所の欄には「志願者と同じ」と記入してください。

受 験 票

兵庫県立芦屋国際中等教育学校

(写 真) 縦40mm, 横30mm	受験番号	※	入学査料 領収日付印
	(フリガナ) 志願者名		※
	出 身 小学校名		
現 住 所			

1 面接・作文の期日

令和5年(2023年)2月4日(土)

2 日 程

受付 9:40~10:10

作文 11:00~12:00

(昼食)

面接 13:00~

※

志 願 理 由 書

年 月 日

兵庫県立芦屋国際中等教育学校長 様

小学校名 立 小学校

(フリガナ)

志願者名

私が兵庫県立芦屋国際中等教育学校を志願する理由は次のとおりです。

本人が記入する欄

- ・ 本人が必要事項を記入する。日本語での記入が困難な場合は、英語または母語で記入してもよい。
※印欄は記入しない。

(様式3)

※

推薦書

志願者	(フリガナ) 志願者名					国籍	
	年 月 日生 性別 ()					年齢	歳 (2023年4月1日現在)
	現住所 〒						
	出身小学校名 令和 年 月 (卒業見込み)						
欠席日数	4学年	日	5学年	日	6学年	日	欠席の主な理由
海外での 生育歴	国名		居住地名		期間		
					年 月 ~ 年 月 (歳)		
					年 月 ~ 年 月 (歳)		
					年 月 ~ 年 月 (歳)		
在留期間	海外在留期間	就学前の期間	【現地校・国際学校】在学期間 (該当するものを○で囲む)		日本人学校在学期間	日本語補習授業校在学期間	
	継続して 年 か月	年 か月	年 か月		年 か月	年 か月	
言語 状況	日本語の能力		外国語の能力				
			()語		()語		
	1 聞く力 ()		1 聞く力 ()		1 聞く力 ()		
	2 話す力 ()		2 話す力 ()		2 話す力 ()		
3 読む力 ()		3 読む力 ()		3 読む力 ()			
4 書く力 ()		4 書く力 ()		4 書く力 ()			
言語能力は右の記号で記入する：A (よくできる) B (できる) C (あまりできない) D (全くできない)							
推 薦 理 由							
上記の記載事項に誤りのないことを証明する。							
小学校名					令和 年 月 日		
校長名					印		

- この推薦書は、小学校長が作成した後、厳封の上、志願者の保護者を経て、中等教育学校長へ提出する。その際、封筒の表に、小学校名と志願者名を記入する。※印欄は記入しない。
- 「海外在留期間」の欄は、継続して在留した最長の期間を記入する。
- 「言語状況」の欄は、外国人児童あるいは帰国児童のみ記入する。

(別紙様式)

兵庫県立芦屋国際中等教育学校長 様

海外在留証明書

所属者名	
志願者名	

上記の所属者は、志願者を伴い、以下のとおり海外に在留していたことを証明します。

年 月 日

会社等名称

所在地

役職・記載責任者名

印

期 間	海外在留地
年 月 日 ~ 年 月 日	
年 月 日 ~ 年 月 日	
年 月 日 ~ 年 月 日	

(注) 様式は、各会社等で使用している証明書の様式でも可です。原則として保護者の所属する機関の人事部(課)等の責任者による証明を行ってください。

自営業等のため上記の証明が得られない場合は、保護者及び志願者の滞在期間を明らかにできるパスポートのコピーを貼付してください。

これまでの作文のテーマ（過去5年間）

（用紙は B4 サイズ 1 枚で罫線のみ。時間は 60 分）

■ 令和4年度

昨年、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、200 を超える国・地域が大会に参加しました。オリンピックは「平和な社会をつくること」、パラリンピックは「※共生社会を進めること」を目指したスポーツの大会です。下の(1)から(3)の問いに答えなさい。

※共生社会：誰もがお互いに支えあい、認めあえる全員参加型の社会のこと。

- (1) 東京オリンピックは、「より速く、より高く、より強く」というオリンピックのモットーに新たに「共に(together)」を加えて行われました。「共に」が、付け加えられたのはなぜだと思いますか。あなたの考えを書いてください。
- (2) あなたの身の周りで、共生社会になっていないと思うことを一つあげ、よりよくするための方法を具体的に書いてください。
- (3) 県立芦屋国際中等教育学校は、異なる言語環境や文化的な背景を持った生徒が学んでいる学校です。あなたは、6年間の学校生活で、自分の力をどのように発揮しますか。自分自身の将来の姿を想像しながら、具体的に書いてください。

■ 令和3年度

1 インターネットやスマートフォンなどを誰もが使うようになり、人と人々が直接会わなくても顔を見て話ができる便利な時代になりました。ある日、あなたは何人かの友だちと教室で話をしていました。そのとき、友だちの一人が「学校に行かなくても、インターネットを使って友だちとコミュニケーションを取ったらいいじゃないか。」と言いだし、他の子も「その通りだ。」とその意見に賛成していました。

- (1) このことについてのあなたの意見と理由を書いてください。
- (2) 芦屋国際中等教育学校は、学校で、友だちとともに学び、成長することを目指している学校です。あなたが芦屋国際中等教育学校でやりたいことや身につけたい力を、理由といっしょに具体的に書いてください。

2 芦屋国際中等教育学校は国際社会に貢献できる人を育てようとしています。近い将来、AI（人工知能）やロボット等が人間の仕事を代わりにするようになると言われていています。そのような時代に生きる将来の自分の姿を想像しながら、芦屋国際中等教育学校を卒業した後のあなたの夢を具体的に書いてください。

■ 令和2年度

芦屋国際中等教育学校は、入学するまでの経験がさまざまな13歳から18、19歳までの人たちが通う学校です。芦屋国際中等教育学校をあなたの考える理想の学校にするためには、どうすればよいかを考えて、次の質問に答えなさい。

- ・あなたの考える「理想の学校」は、どのようなものですか。その理由もあわせて書きなさい。
- ・芦屋国際中等教育学校を「理想の学校」にするための標語（スローガン）を生徒に募集しました。すると、『小さな地球』、『みんな仲良し』、『和気あいあい』などの意見が出ました。あなたは、これらとは違うどんな標語を考えますか。あなたの考える標語となぜその標語にしたのかを具体的に書きなさい。
- ・あなたの考える「理想の学校」を実現させるために、入学後にあなたがしようと思うことは何ですか。その理由もあわせて具体的に書きなさい。

■ 平成31年度

芦屋国際中等教育学校の校訓のひとつに「貢献」があります。社会貢献とは、社会のためになる行いをする事です。社会に貢献するために必要なことについて、次の質問に答えなさい。

- ・今のあなたが、社会に貢献できることはどんなことですか。具体的に書きなさい。
- ・社会に貢献するためには、どんなことが大切だと思いますか。理由も含めて書きなさい。
- ・これからの人生で社会に貢献していくために、あなたは芦屋国際中等教育学校での6年間の学校生活に、どのように取り組みますか。理由も含めて具体的に書きなさい。

■ 平成30年度

クラスごとに、「私たちの学校は、共に生きる『小さな地球』です」というテーマで全校発表会を行うことになりました。このテーマは、各クラスの代表が話し合っただけで決めたものです。発表会を成功させるためにはどうすればよいかを書きなさい。

- ・各クラスの代表は、なぜこのテーマに決めたと思いますか。あなたの考えを書きなさい。
- ・あなたは、どのようなクラス発表をしたいと思いますか。具体的な内容を書きなさい。
- ・クラスのみんなが協力して、より良い発表会にするには、どうすればよいかを考えて書きなさい。

出入国の記録の入手方法（写しの送付を希望する場合）

1. 保有個人情報開示請求書を入手する

① <https://www.moj.go.jp/isa/applications/disclosure/record.html> を入力すると、「出入（帰）国記録に係る開示請求について」のページが開く

② 「3開示請求書の様式」の「ワード」または「PDF」をクリックすると、保有個人情報開示請求書が手に入ります。

2. 申請に必要なもの

- ・保有個人情報開示請求書
- ・本人であることが確認できる書類
- ・封筒2通（送信用と返信用、返信用には切手を貼付）
レターパックも可
- ・収入印紙 300 円

3. 書類の送付先

〒160-0004

東京都新宿区四谷 1-6-1 四谷タワー13F

出入国在留管理庁総務課情報システム管理室出入国情報開示係

※申請の際には、「出入（帰）国記録に係る開示請求について」のページをよくお読みください。

委任状

私は、次の者を代理人として、入学の手続きについて一切の権限を委任します。

(代理人の表示)

名前：

住所：

電話番号またはメールアドレス：

本人との関係：

令和 年 月 日

(本人)

名前：



住所：

電話番号またはメールアドレス：

(委任者本人の氏名は自署してください)